

# しんめいばら

回 覧

第 212 号  
2022.12.20

## 定期整備!

十二月十一日(日)は久しぶりに暖かな朝となり、会員十三名の参加により今年最後の定期整備を行いました。

前回肥料などを混ぜて準備をした花壇数ヶ所に、県グリーンバンクより配布をいただいたチューリップの球根や購入したパンジー、ヒオラの苗を植え付けました。今回は作業量が多かったため、いつもより多くの時間が掛かりましたが、参加者は休憩をしながら作業を進め、「来年も無理をせずに元気に頑張って活動しましょう」という言葉が多くの方から聞かれました。



チューリップの開花に期待を込めて!



初めての体験です!

## 防災訓練!

十二月四日(日)「地域防災の日」に公園を会場に防災訓練を実施しました。中学生による避難デモの設置、消火訓練、三角巾による応急手当、簡易担架の作り方、集会所の避難梯子の使用などを学びました。コロナ禍がまだ収束しない中で、炊き出しの訓練は中止となりましたが、今年は十月に台風の通過により静岡市が近年にない大きな災害に見舞われたため、災害時にはご近所の皆様の協力体制が大切であることを改めて感じました。

## 豆知識!

『日本人のこころの歌』

唱歌『庭の千草』の原曲はアイルランド民謡『夏の最後のバラ』。明治期、西洋文化が入ってきたとき、日本にはこのような歌がなく、欧米の歌をもとに日本の歌詞をつけて歌いました。詩人たちは日本の情緒を失うことなく、日本人に歌いやすい詩を工夫しました。『塙生の宿』も日本の歌と違って歌っていた人も多いいと言います。作詞作曲とも日本人の手になる曲は、少し後のことです。外国の歌を日本人に合うように作り変えて日本人の感性を育てたのでしょう。『庭の千草』の季節感には秋から初冬でしょうか。千草は、いろいろな草という意味です。

庭の千草 里見 義作詞

庭の千草も むしのねも

かれてさびしく なりにけり

ああ白菊 ああ白菊

ひとりおくれて 咲きにけり

つゆにたわむや 菊の花

霜におごるや 菊の花

ああ あわれあわれ ああ白菊

人のみさおも かくてこそ

## 今日の公園!



新年を待つ花壇!



お知らせ!

○ 一月の公園整備は九日(祝)です。落ち葉収集、砂場清掃、灌水などの作業を行います。

○ 一月の回収、ピン・缶は二十四日(火)、古紙は二十二日(日)です。自治会の回収活動にご協力下さい。

○ 高松神明原公園愛護会は現在二十名の会員により公園の美化活動に取り組んでいます。自治会員に限らずご参加下さい。

連絡先・二三七五一八一 山本まで